

# 受験生に魅力を伝える！

## 長岡造形大学視覚デザイン学科の Web サイトを作ろう！

### 質問に答えていくと、コンセプトが固まる不思議な企画書

学籍番号 213011

氏名 幾田まどか

どんな受験生？（全般、近県、遠いところ、浪人生、〇〇をしたい人、〇〇な人、など）

今まで美術をあまりやってこなかった人。（画塾に通っていなかった人や芸術初心者）  
「美大って楽なんじゃあ〜？」 「普通の大学に比べて勉強しないから余裕そう」とか美大を舐めている人。

その受験生はどんな情報がほしい？また、公式サイトで不足している情報はなに？

自分が本当にやっていける環境なのかということ。  
具体的に課題がどんなスパンで行われているのか。どういった内容なのか。  
通学している生徒のインタビュー。

- 「不足している情報」
- ・シバラスに沿ったカリキュラム的なものは記載されているけれど、その内容的な部分には触れられていない。
  - ・長岡造形大はめちゃくちゃ忙しいのに、そういった情報が少ない。（キツイという事が分かりにくい。）
  - ・生徒のリアルな本音が少ない。

長岡造形大視覚デザイン学科にはどんな魅力がある？（授業、設備、就職、先輩、先生、など）

- ※自分は外観的な魅力しか思いつけなかったもので、マイナスの魅力をポジティブに変えるという方向性でやっていきます。
- ・めちゃくちゃ課題が忙しい → その分だけ実力がつく。デザイン力がアップする。
  - ・本当の休みは課題が終わってからの1週間ぐらいしかない（次の課題が始まるまで） → それだけ大学生活が充実している。
  - ・先生からアドバイスや好評を受けた時のムチ攻撃が精神的苦痛になる時がある → 自分に試練を与えてくれている。社会に出た時にこの経験が絶対に生きる。

それらをどうやって伝える？（インタビュー、読み物としての記事、写真、動画、など）

1日のスケジュールをを忙しい時用と忙しくない時用で比較できるようなグラフを作る。  
課題の詳しい行程と生徒のリアルな本音を合わせたコーナーを作る。  
生徒へ忙しさに関するインタビューを行う。  
先生達から見た長岡造形大学の忙しさっぷり&厳しくする理由についてのインタビューなど。

## 受験生はどんなタイミングで見るの？（大学選び、出願前、テスト前、など）

そろそろ志望校を決めないといけない10月ぐらい。  
共通テストの点数が足りず、第一志望の大学を100%諦めないといけなくて、第二志望の大学の出願を考えている時。

## 受験生はどんな目的で見るの？（他大学との比較、志望校選び、受験対策、気持ちを高める、など）

志望校選び。  
自分に合っているかどうかを確認する。  
サイトを見て自分が入学した時のイメージを膨らませる。

## サイトを通じて受験生はどうなる？（問い合わせ、受験候補になる、受験する、気持ちが高まる、など）

資料請求する。  
「受験したい」と本気になる。  
この大学についてもっと知りたいと思い、オンライン相談会などに参加したいと意欲が芽生える。

## どんな雰囲気なサイトになりますか？（視覚的なねらい）

「長岡造形大学は厳しいけど得るものはたくさんある」というのを軍隊風のホームページとして制作する。  
トップページは「長岡造形大学はまるで軍隊のような大学」というのを長期密着という設定でびびらせるイメージ。  
メインコンテンツはジャーナリストが行った長期密着の報告書として実際メモ手帳に書かれているような雰囲気のページ。

## その他

## サイトのコンセプト（ねらい）を一文で言うと？

美大の厳しさや忙しさを理解し、その上で自分がそれでもここ（長岡造形大学）に来たいかを考えてもらう。

ラフとかツリーとかサムネイルとか、全体像を想像できる具体的なもの。

#### 「トップページ」

軍隊風をイメージして作成。

狙いとしてはここで面白いぐらい表現に拘って、メインコンテンツへの誘導を確実にする。

冒頭の言葉はナポレオンが実際に使っていた軍事的名言を馬場学長がに発言者を変えて添える。

血が飛び散っているイメージ。

メインコンテンツの部分はインパクトをモノクロ表現で強くする。

下には格SNSや公式HPへのリンクを貼る。(サイトを見に来た人が興味を持ったらすぐそこへ飛べるように。)

#### 「メインコンテンツ」

手帳風のデザインのため、手書風な文字、ストロークを用いる。

写真をクリップで挟むようなデザイン。

トップの文字は実際にマーカーで書いたものをスキャンして使用している。

両方のサイトの共通カラーは、暖色をイメージしている。

ただ、トップページのダークな雰囲気とメインコンテンツのラフな雰囲気を統合するとイメージが混沌としてしまうので、トップは暗い赤、メインは濃いピンクを用い、方向性だけでも揃えようと意識した。

フッターの背景は造形大学の風景画像で統一した。